資料４

案

子育て支援に関するアンケート調査（就学児）
～調査の趣旨とご協力のお願い～

【 ご 協 力 の お 願 い 】

平成 30 年●月

市

・ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者にお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いします。

・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。

・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。

・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
●月●日（●）までにご返送ください。（切手は不要です。）

・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合せください。

【お問い合せ】　　市　　課　電話：
ＦＡＸ：

※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

● 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

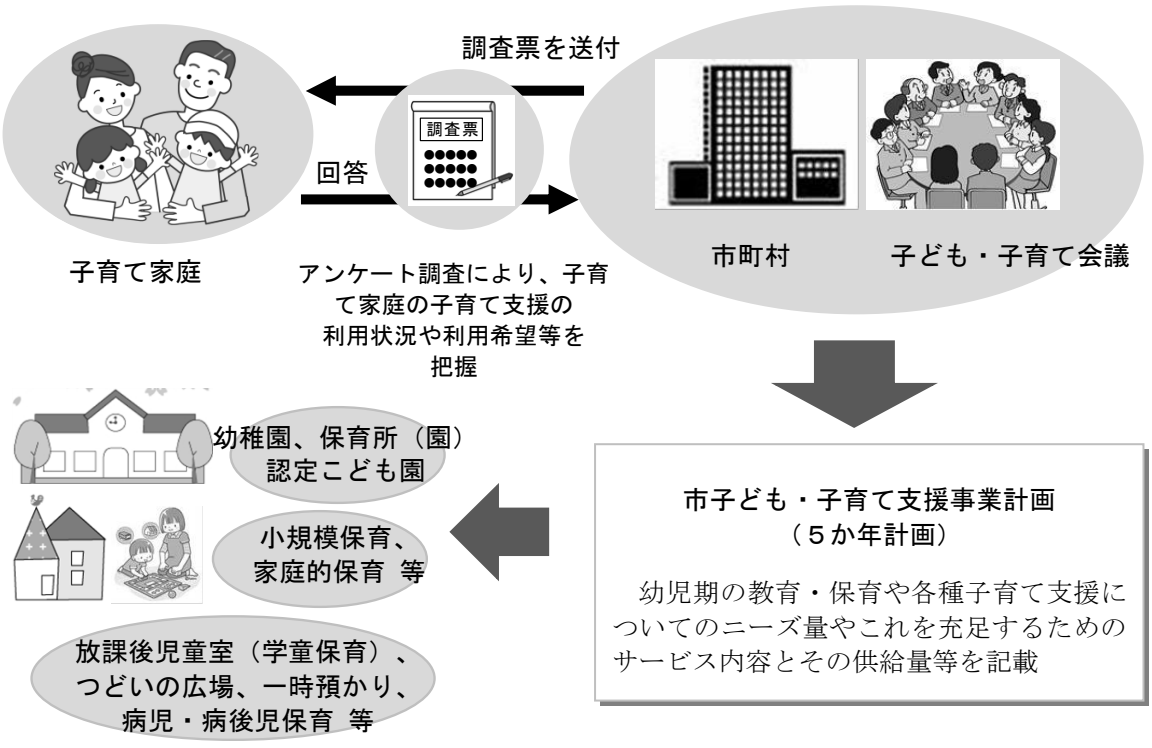
● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
　地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

アンケート調査票に使われている用語の定義

○子育て　：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

○教育　：家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

◎問１　お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．豊川小学校区	10．国府小学校区	19．一宮南部小学校区
２．東部小学校区	11．桜町小学校区	20．萩小学校区
３．桜木小学校区	12．御油小学校区	21．長沢小学校区
４．三蔵子小学校区	13．天王小学校区	22．赤坂小学校区
５．千両小学校区	14．代田小学校区	23．御津北部小学校区
６．牛久保小学校区	15．金屋小学校区	24．御津南部小学校区
７．中部小学校区	16．豊小学校区	25．小坂井東小学校区
８．八南小学校区	17．一宮東部小学校区	26．小坂井西小学校区
９．平尾小学校区	18．一宮西部小学校区	

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

◎問２　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（　　）内に数字でご記入ください。

平成（　　）年（　　）月生まれ

○問３　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（　　）内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（記入日現在の年齢を記入）

きょうだい数（　　）人　　末子の生年月　　平成（　　）年（　　）月生まれ

◎問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

◎問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．配偶者がいる　　２．配偶者はいない

◎問６　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．父母ともに	２．主に母親	３．主に父親
４．主に祖父母	５．その他（　　）	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

○問７　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
　→ **【問７－１へ】**

３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
　→ **【問７－２へ】**

５．いずれもいない ---► **【問８へ】**

○問７－１　問７で「１.」または「２.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
２．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
３．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．経済的な負担がかからないので助かっている
７．その他（　　）

---► **【問８へ】**

○問７－２　問７で「３.」または「４.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
２．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
３．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
６．経済的な負担がかからないので助かっている
７．その他（　　）

○問８　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．いる／ある ---► **【問８－１へ】**	２．いない／ない ---► **【問９へ】**

○問８－１　問８で「１.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．配偶者	２．祖父母等の親族
３．友人や知人	４．近所の人
５．子育て支援施設（子育て支援センター、つどいの広場、児童館等）・NPO	
６．保健所・保健センター	７．民生委員・児童委員
８．かかりつけの医師	９．市役所などの子育て関連担当窓口
10．その他（　　）	

○問９　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

◎問 10　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

◎（１）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	【（１）－１へ】
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	【（２）へ】

（１）－１　（１）で「１.～４.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（　　）内に数字でご記入ください。

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

（１）－２　（１）で「１.～４.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（　　）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

◎（２）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である ３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	【（２）－１へ】
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	【問 12 へ】

（２）－１　（２）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（　　）内に数字でご記入ください。

１週当たり（　　）日　　１日当たり（　　）時間

（２）－２　（２）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）８時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（　　）内に数字でご記入ください。

家を出る時刻（　　）時　　帰宅時刻（　　）時

◎問 11　問 10 の（１）または（２）で「３．」、「４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（２）父親

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

◎問 12　問 10 の（１）または（２）で「５. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する（　　）内には数字でご記入ください。

（１）母親

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
　→希望する就労形態　ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
　イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
　→１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間

（２）父親

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
　→希望する就労形態　ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
　イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
　→１週当たり（　　）日　１日当たり（　　）時間

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

◎問 13　この１年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。

１．あった ---▶ 【問 13－１へ】　　２．なかった ---▶ 【問 14 へ】

◎問 13－１　宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）

１年間の対処方法	日数
ア　父親が休んだ	（　　）日
イ　母親が休んだ	（　　）日
ウ　（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	（　　）日
エ　父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	（　　）日
オ　病児・病後児の保育を利用した	（　　）日
カ　ベビーシッターを利用した	（　　）日
キ　ファミリー・サポート・センターを利用した	（　　）日
ク　仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日
ケ　その他（　　）	（　　）日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

【問 13－5 へ】

【問 13－2 へ】

問 13－１で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

◎問 13－２　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（　　）日 ---▶ 【問 13－３へ】
２．利用したいとは思わない ----▶ 【問 13－４へ】

○問 13－３　問 13－２で「１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
２．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）

---▶**【問 14 へ】**

○問 13－４　問 13－２で「２．利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
２．地域の事業の質に不安がある
３．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
４．利用料がかかる・高い
５．利用料がわからない
６．親が仕事を休んで対応する
７．その他（　　）

---▶**【問 14 へ】**

問 13－１で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

○問 13－５　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても（　　）内に数字でご記入ください。

１．できれば仕事を休んで看たい ⇒（　　）日 ---▶ 【問 14 へ】
２．休んで看ることは非常に難しい ---▶ 【問 13－6 へ】

○問 13－６　問 13－５で「２．休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの看護を理由に休みがとれない
２．自営業なので休めない
３．休暇日数が足りないので休めない
４．その他（　　）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

◎問 14　宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）を（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
１．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	（　　）日
２．夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業	（　　）日
３．ベビーシッター	（　　）日
４．その他（　　）	（　　）日
５．利用していない	

→ 【問 14-1】へ

問 14 で「7．利用していない」と回答した方にうかがいます。

○問 14－１　現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．特に利用する必要がない　　２．利用したい事業が地域にない
３．地域の事業の質に不安がある
４．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる・高い　　６．利用料がわからない
７．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
８．事業の利用方法（手続き等）がわからない
９．その他（　　）

◎問 15　宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（　　）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい		計（　　）日
	ア　私用(買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的)	（　　）日
	イ　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（　　）日
	ウ　不定期の就労	（　　）日
	エ　その他（　　）	（　　）日
２．利用する必要はない　→ 【問 16 へ】		

→ 問 15 で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

○問 15－１　問 15 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
２．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
４．その他（　　）

◎問 16　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（　　）泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（　　）泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	カ その他（　　）	（　　）泊
2. なかった		

→問 16 で「1．あった　ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

○問 16－１　その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．非常に困難	2．どちらかというと困難	3．特に困難ではない

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

◎問 17　宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童室」の場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館※1	週（　　）日くらい
5．放課後子ども教室※2	週（　　）日くらい
6．放課後児童クラブ〔児童クラブ〕※3	週（　　）日くらい→ 下校時から（　　）時まで
7．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※1　児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「６．」に回答

※2　「放課後子ども教室」･･･地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3　「放課後児童クラブ」･･･地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

◎問 18　宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童室」の場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

※　だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

１．自宅	週（　　）日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
４．児童館※	週（　　）日くらい
５．放課後子ども教室	週（　　）日くらい
６．放課後児童クラブ〔児童クラブ〕	週（　　）日くらい→ 下校時から（　　）時まで
７．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

※　児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「６.」に回答

○問 19　問 17 または問 18 で「６．放課後児童クラブ〔児童クラブ〕」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。
次の（１）、（２）のそれぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（　　）内に（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

（２）日曜・祝日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい ２．高学年（４～６年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで
３．利用する必要はない	

△問 20　児童クラブを利用されている理由は何ですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

１．働いている	２．働く予定がある、または仕事を探している
３．家族・親族などを介護している	４．病気や障がいを持っている
５．学生である	
６．その他（　　）	

△問 21　児童クラブに対してどのように感じていますか。当てはまる番号それぞれ１つに○をつけてください。

	大変満足	ほぼ満足	やや不満	大変不満
①施設・環境	1	2	3	4
②職員等の配置状況（人員体制）	1	2	3	4
③子どもへの接し方・日常の指導	1	2	3	4
④利用料金	1	2	3	4
⑤利用時間	1	2	3	4
⑥子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）	1	2	3	4
⑦行事	1	2	3	4
⑧病気やけがの時の対応	1	2	3	4
⑨保護者への情報伝達	1	2	3	4
⑩悩みごとなどへの相談対応	1	2	3	4
⑪保護者の要望・意見への対応	1	2	3	4
⑫安全対策	1	2	3	4
⑬衛生対策	1	2	3	4

△問 22　現在通っている児童クラブに対して要望がありますか。当てはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。

1．夕方の利用時間を延長してほしい ----------▶（　　）時（　　）分まで
2．長期休暇（夏休みなど）の朝の利用開始時間を早めてほしい ------▶（　　）時（　　）分から
3．利用できる学年を延長してほしい ----------▶（　　）年生まで
4．施設設備を改善してほしい
5．指導内容を工夫してほしい
6．その他（　　）
7．特に要望はない

○問 23　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号<u>１つに</u>○をつけてください。また利用したい時間帯を、（　　）内に（例）９時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1．低学年（１～３年生）の間は利用したい
2．高学年（４～６年生）になっても利用したい
　　利用したい時間帯
　　（　　）時から　（　　）時まで
3．利用する必要はない

△問 24　《児童クラブを「利用していない」と答えた方におうかがいします。》「利用していない」理由は何ですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1．働いておらず、必要がないから
2．働いているが、児童クラブを知らなかったから
3．働いているが、児童クラブに空きがないから
4．働いているが、児童クラブの開所時間が短いから
5．働いているが、利用料がかかるから
6．働いているが、子どもは放課後に習い事をしているから
7．働いているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
8．働いているが、子どもが４年生以上で主な対象になっていないから
9．働いているが、子どもが行きたがらないから
10．その他（　　）
11．特に理由はない

ファミリー・サポート・センター事業の利用について

△問 25　ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．利用したことがある　　2．利用したことがない　-----▶**問 25-4 へ**

※ファミリー・サポート・センター：「育児の応援をして欲しい方」（依頼会員）と「育児の応援をしたい方」（援助会員）が、会員となって、お互いに助け合いながら活動する組織。

問 25－1・2・3 は、問 25 で「１．利用したことがある」を選ばれた方におうかがいします。

△問 25－1　どのような目的で利用しましたか。【○はあてはまるものすべて】

1．放課後もしくは学校が休みの日の主たる保育サービスとして利用している
2．児童クラブの利用ができない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3．児童クラブの送り迎えに利用している
4．祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5．親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6．その他の目的で利用している

△問 25－2　どれくらいの頻度で利用していますか。下線部に日数と時間を記入してください。

年に［　　］日くらい　　１回当たり［　　］時間程度

△問 25－3　利用日数・回数を増やしたいと思いますか。【○は１つだけ】
希望がある方は、下線部に希望日数、時間を記入してください。

年に［　　］日くらい　　１回当たり［　　］時間程度

問 25－4 は、問 21 で「２．利用したことがない」を選ばれた方におうかがいします。

△問 25－4　ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがないが、今後できれば利用したい方は下線部に利用したい日数・時間を記入してください。

年に		日くらい	１回当たり		時間程度

子育て全般の様子について

△問 26　あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。【○は１つだけ】

１．楽しいと感じることの方が多い
２．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じぐらい
３．つらいと感じることの方が多い
４．その他（　　）
５．わからない

△問 27　あなたは、子育てに関してどのような情報を入手したいですか。【○はあてはまるものすべて】

１．学校に関する情報
２．子育てサークルに関する情報
３．子どもの遊び場に関する情報
４．子育てに関するイベントの情報
５．子どもの病気に関する情報
６．育児相談に関する情報
７．子ども発育、発達に関する情報
８．手当など子どもに関する公的援助等の情報
９．不審者や交通安全など子どもの安全に関する情報
10．その他（　　）

△問 28　下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑥の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについてお答えください。

【○はそれぞれ１つだけ】

	【　A　】 知っている		【　B　】 これまでに利用したことがある		【　C　】 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①　放課後子ども教室	1	2	1	2	1	2
②　少年愛護センター	1	2	1	2	1	2
③　心理教室相談「ゆずりは」	1	2	1	2	1	2
④　児童館	1	2	1	2	1	2
⑤　家庭児童相談室	1	2	1	2	1	2
⑥　東三河児童・障害者相談センター	1	2	1	2	1	2

※サービスの内容は裏面参照

［サービスの説明］

※放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。

※少年愛護センター

少年の生活や学習・身の上などに関する相談に応じるところ。プリオ５階にある。

※心理教育相談「ゆずりは」

臨床心理士が専門的な視点から学校生活における心の問題（不登校、情緒不安、問題行動など）に面談で応じるところ。勤労福祉会館内、音羽庁舎教育センター内と小坂井庁舎内にある。

※家庭児童相談室

家庭における児童の養育上のさまざまな問題について家庭児童相談員が相談に応じるところ。プリオ５階にある。

※東三河児童・障害者相談センター

児童の相談と障害者の相談に応じている愛知県の機関。豊橋市にある。

○問 29　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が低い ←				→ 満足度が高い
１	２	３	４	５

○問 30　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

切手は貼らずに同封の封筒に入れて、●月●日（●）までにご返送ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。